

シルバーくだまつ

星のさと

NO.56

平成28年1月15日

編集発行／公益社団法人下松市シルバー人材センター広報委員会 下松市潮音町2丁目16-8 TEL (0833) 44-2600 印刷／睦美マイクロ株式会社



襖・障子・網戸張替班

新年ごあいさつ



であります。

さて、我が国では少子高齢化が進み、労働力人口が減少する中、高齢者の就業の場と交流機会の確保に尽力されている貴センターの役割はますます重要なものとなっております。今後も高齢者の生きがいづくりの拠点として、更なる発展を期待しております。

本市におきましては、「笑い」「花」「童謡」を3本の柱として、人情あふれる心豊かな「住みよき日本一」のまちづくりに全力で取り組んで参りますので、皆様がこれまで培われた豊富な知識、経験をもとに本市のまちづくりの推進に更なるお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

本年が下松市シルバー人材センターの皆様にとって幸多き飛躍の年となりますよう心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。

平成二十八年 元旦

下松市長 井川 成正



明けましておめでとうございます

皆様方には、清々しく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

下松市シルバー人材センターにおかれましては、健康で働く意欲のある高齢者の方の就労の確保や生きがいの創出など地域社会の福祉向上に大きく寄与されてこられました。

また、就労を依頼される企業や家庭、地方公共団体などからも会員の皆様の誠実な仕事内容が評価を得ており、着実に事業の成果を上げておられますことについて、深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

市議会としまして、高齢者福祉の向上と地域社会の活性化に更なる努力を重ねてまいる所存であります。

終わりに、下松市シルバー人材センターの益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、ご多幸を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

平成二十八年 元旦

下松市議会議員 浅本 正孝

新春を迎えて



理事長

官田 敏彦

明けましておめでとうございます

皆様方には、お健やかに新年をおむかえのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨今の景気の動向は、一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いているといわれております。

当シルバー人材センターの事業実績も、これまでのところ厳しいながらも、まずまずの状況にあります。

これもひとえに会員の皆様のご尽力、行政並びに市民の方々のご理解、ご支援によるものと心から感謝申し上げます。

人口の減少と少子高齢化がますます進む中、高齢者の生きがい対策として、また地域社会活性化の支え手としてのシルバー人材センターの存在は、ますます重要となっております。

こうした中で、六十五歳までの継続雇用や年金支給開始年齢の段階的引き上げなどによる会員数の伸び悩みもまた、当センターの課題の一つでありますことから、引き続き会員の確保、就業機会の確保、拡大、安全及び適正就業の推進に努めて参りたいと思っております。

どうか会員の皆様におかれましては、本年も健康、安全就業、交通安全に十分留意され、地域社会へのさらなる貢献にご尽力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

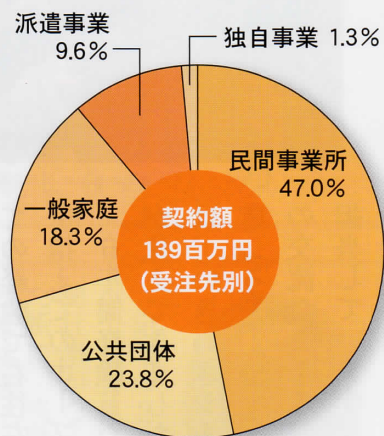
皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

平成27年度上期事業実績

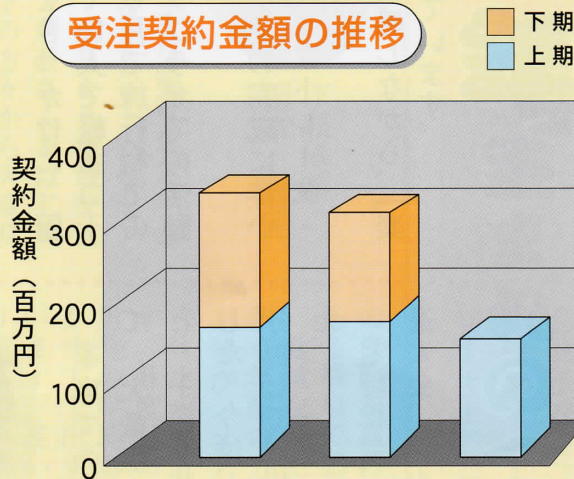
我が国の経済情勢は、緩やかではありますが、設備投資を始め輸出や生産において改善基調が続いているといわれていますが、所得から消費投資へという回復メカニズムの確かさについては不透明な状況にあります。

こうした中、当センターの平成27年度上期の契約金額は、民間事業所の適正就業の推進や夏場の悪天候の影響を受けて減額となり、会員数も定年制の延長や継続雇用の法制化に伴って、新規会員の入会が少なく、27年3月時点より僅かな増という状況になっています。今後も、シルバー事業の果たす役割を再認識する中で、会員・役職員が一体となって、地域社会に信頼されるセンターづくりに、尚一層の努力をしてまいります。

受注先別契約金額の割合



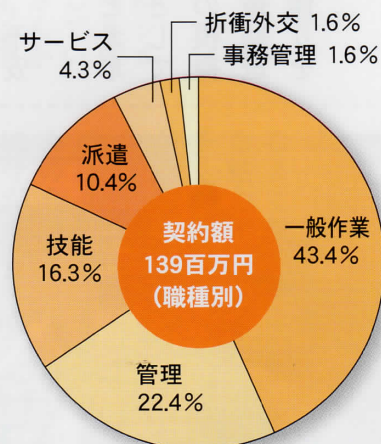
受注契約金額の推移



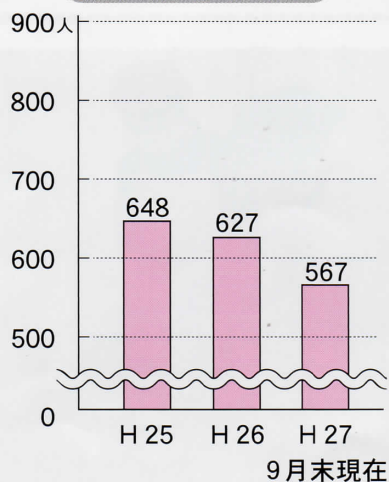
	平成25年度	平成26年度	平成27年度
上期受注額	154	157	139
下期受注額	159	134	

(単位：百万円)

職群別契約金額の割合



会員数の推移



理事 藤本 泰延
常務理事 神田 佳郎
兼事務局長 内山 紘一
理事 岡山 誠治
理事 吉山 俊則
理事 波多野 悦子
理事 玉木 章嘉
理事 岡田 米蔵
理事 松永 静子
理事 栗岡 宗弘
理事 宮川 照之
理事 土田 芳大
理事 清水 信男
理事 村岡 博徳
理事 官田 敏彦

新会を
皆を
お礼を
申す
山崎 孝

独自事業ハーブの会



独自事業ハーブの会

独自事業ハーブの会は、軽食班とスイーツ班で構成されています。

軽食班は平成18年に旅行村の管理をきっかけに、厨房設備があったサービス棟を利用して15人で軽食コーナーを立ち上げましたが、平成24年6月で旅行村での営業は、終了しました。現在はワークプラザでの活動が中心となっています。

スイーツ班は、平成19年ワークプラザの完成に伴いお菓子作りとして、6人で立ち上げ、マドレーヌ・クッキーなどを、製造販売しています。

軽食班もスイーツ班も段取り等の大変さを実感しながら、「楽しく」をモットーにボランティア精神で頑張っています。



旗岡2班
渡辺 紀美子
(軽食班)

旅行村サービス棟（軽食コーナー）での営業は、何もかもが、初めての経験で右往左往しながら、不安を抱えてのオープンでした。

6年間経験したことで、何とか形が見えてきました。主な活動としては、いきいきシルバーマつりの模擬店（うどんコーナー）・家事援助班の交流会（年4回）等で食事作りを担当しています。



下松5班
原 尚子
(スイーツ班)

家庭でのお菓子作りと違って、大量生産でどうなる事かと、手探り状態からはじまりました。今は、手際よく自主的に分担して、仕事も早くなりました。

定時総会、安全・適正就業推進大会、シルバーマつり（喫茶コーナー）、福祉まつり、交流会等でマドレーヌやクッキーの製造販売をしています。



下松6班
中山 康子
(軽食班)

旅行村の駐車場に入ってくる車を、気にしながらお客様の来店を心待ちにしていたことを思い出します。

6年間の旅行村での営業は終わりましたが、その間いろいろな経験させていただき、今があると思っています。年1回のシルバーマつりや交流会などで食事作りをしています。

これからも元気で楽しく頑張れたらと思う今日この頃です。





久保2班
佐々木菊乃

私はシルバー人材センターの表具班に入り表具の仕組みからひとつずつ、覚えていきまし
た。元洋裁の仕事をしていて布と紙の扱いが似ていることもあり私にとってプラスになった様
です。

現在スタッフは6人で、日々皆で知恵を出し合い工夫して、より良い襖・障子に仕上げお客様に喜ばれる事を目標に頑張っています。

主人が他界し通勤に困るため69歳の高齢ではありましたが、運転免許を取ったこと、技術が身に付いたこと、仲間が出来たこと、健康にも恵まれ休むこともなく、あっと云う間の幸せな20年でした。

これも60歳からのシルバー人材センターの受け入れがあったからこそと心より感謝しています。



花岡4班
仲築間末広

定年の2004年4月にシルバーの会員になる。しばらくの間仕事がなく、ブラブラしていた折に、当時理事の明尾さんから筆耕班に誘われる。その後、輪飾り・門松班そして健康増進室の管理人となって現在に至る。

この中で輪飾り・門松班につ

申年生まれの一言



下松6班
相本 義昭

平成21年3月銀行を定年退職、6月にシルバー人材センターに入会、10月より地域交流センターへ。所長さんをはじめ職員・パートの方々から大変良くしていただいております。又夏の納涼会、年末の忘年会と親睦会也非常に盛り上がり雰囲気

いて私の思いを述べると、作業はハードの部分もあるが、みんなよく働く。この班には不思議な魅力がある。個性豊かな人が多く、一口では言い尽くせないが話し出したらとまらない「シルバーなんでも言って委員会」のはじまりである。休憩と昼休みの会話は、実に楽しい。まさに今が絶頂期かもしれない。今年も我々が心を込めて作成した門松と輪飾りで年神様を迎えて、心新たに、明るく楽しく乗り切りたいと願う。

の良い和みのある職場で感謝しております。

地域交流センターは来訪者が多く年配の方々から知識、教養を学び、若い方々からエネルギーとパワーを吸収しております。6度目の申年を迎えますが男性の平均寿命は80歳、何とかクリアー出来ればと内心思っています。長い人生山あり、谷あり、質実剛健とはいきませんが、酒をほどよくたしなみ、しなやかに、過ごしていければと願っています。



末武2班
神田美津代

織田信長の名言に「人生五十年、下天の内をくらぶれば：」とありますが今は昔、平均年齢が80才を超えている現在、50才なんて信長さん、青いりんご。

6度目の干支を迎え、振り返ればあつという間、紆余曲折はありましたがここに来ようやく平坦な道を歩いているような気がします。少々のでこぼこ道やぬかるんだ道もやり過ごせるようになってきました。

子供たちには恥ずかしくない背中を見せようと悪戦苦闘した時代、今では楽しい思い出です。人生、山や谷があるならば晩節が平穏であることを誰しも望む事と思います。今度は健康で好きなことに時間を費やせればと思っています。

〃ありのまま生きて余生はむりをせず〃



第7回 いきいきシルバーまつり

第7回「いきいきシルバーまつり」は、11月7日(土)下松市勤総センターで開催されました。「雨天」予報のため、野外ステージを、体育室に変更。心配されていた曇天の中で、華々しく開催されました。天候の関係上出足は、いまひとつでしたが、時間が経つにつれ次第に会場は盛り上がり、多くの人でにぎわっていました。たこ焼き・焼きそばなどの多くの模擬店では、一時行列ができるようになりました。昼になると、うどん・あづきご飯等の販売で混雑し、おいしそうに食べながらたのしく談話しているいくつかのグループもあり、和やかな雰囲気にも包まれていました。

蕎麦打ち・木工・子どもゲームコーナー・ちぎり絵などの体験コーナーでは、子どもたちも参加。真剣に取り組み、完成した子どもたちの喜びの表情が、印象的でした。成就感・達成感を十分堪能できたことでしょう。

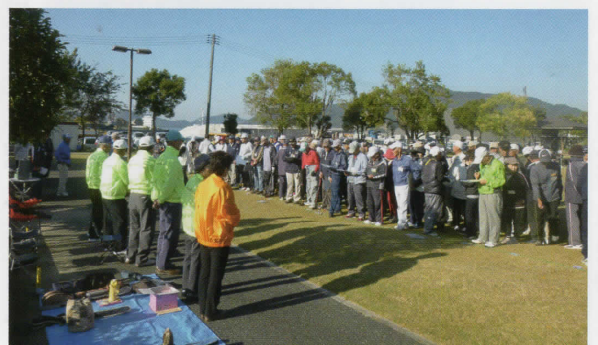


多くの発表があり、出場者の熱演に、みなさん終始興味深く見入り、惜しみないあたたかい拍手を送って興奮おさまらない様子でした。喫茶コーナーでは、特にあったかい100円コーヒーが好評でした。最後の餅まきは、みなさん両手を高々と広げ、我先にと紅白餅に飛びついていました。ポケットにはたくさんさんの餅が入っていて、みなさんとても満足そうでした。

一日中曇天ではありましたが、雨も降ることなくすばらしい「まつり」であったことに関係者一同喜んでおります。

第7回 シルバー人材センター グラウンドゴルフ大会

好天の11月4日(水)下松埠頭公園において192名の一般市民、シルバー会員の参加により盛大に開催されました。手入れの行き届いた芝生コースで、参加者は1球に集中し、好プレーに歓声が上がりました。当日は、就業開拓委員が、当センターの広報チラシを配布し、事業の普及を図りました。



普及啓発奉仕活動

10月17日(土)「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」に伴い、道路清掃(空き缶等のごみ収集)や普及啓発活動(チラシの各戸配布)を実施しました。官田理事長を激励のあいさつ後、市役所を9時過ぎ出発。シルバー人材センター会員および役職員約120人が7班に分かれ、市内広い範囲に分散し、空き缶やゴミ拾い、チラシを各家庭に配布してまわりました。秋半ばとはいえ気温も高く、汗をかきながらの作業に、地域の方々から「ごくろうさん・ありが

とう」と声をかけられ、また玄関先でチラシを渡すとお礼を述べられ、なにかとてもさわやかな気分になることができました。奉仕活動の重要性を改めて認識することができ、正午には無事活動を終了しました。



平成27年度 安全・適正就業推進大会

平成27年7月11日(土) 平成27年度安全・適正就業推進大会をスタートピアクだまつ展示ホールにおいて開催しました。

7月は、「安全・適正就業強化月間」にあたることから、今後の安全就業及び適正就業の積極的な推進を図る目的で開催しました。

143名の参加の中、下松市健康福祉部健康増進課の鬼武保健師の講演「健康長寿6つのポイント」に続き、安全就業改善提案及び安全標語の表彰が行われました。

安全就業改善提案最優秀作品の発表を横田進さん、体験事例発表「老いて若返り」を末光義光さん、安全活動事例発表「脚立の転倒防止策」を横田進さん、安全・適正就業宣言を下松市市道管理班の小西久夫さんが行われました。

閉会のことばを栗岡安全対策推進委員長が行い、盛況のうちに大会が終了しました。



安全就業改善提案

【最優秀提案】

樹木伐採時の方向変換用けん引ロープ掛け方の改善

剪定班 横田 進

【優秀提案】

草刈り作業要領書改訂版作成

草刈班 清水孝俊

旗竿下部にとがった金具の取付

剪定班 藤井茂男

安全標語

【最優秀安全標語】

危険予知 やれば身につき 身を守る！

米泉湖緑地管理班 田村敏勝

【優秀安全標語】

気を付けて！ 事故は一瞬 けが一生

施設管理・農園 松永善男

安全だと思っから再点検

接客清掃 及川照夫

お知らせ

会員研修会

及び親睦会

日時

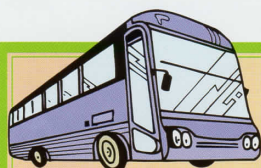
平成28年1月30日(土)

11時より

場所

きらぼし館

参加費 3,000円



会 員 親 睦

日帰りバス旅行

〔北九州方面〕

11月14日(土)曇り空の下、45名で北九州方面への旅行に出発しました。スタート早々高速度道路での追突事故の渋滞「これも旅の余興」とバスは進みます。

旧伊藤伝衛門邸

NHKの連続テレビ小説『花子とアン』のモデルとなった、『九州の炭鉱王』伊藤伝衛門の邸宅は、飯塚市に残され、素人目にも、庭や建物が、材料工法共に吟味された物であることが伺えます。その妻である、柳原白蓮さんの二階の居室からの庭の眺めは、背景の、山並みをバックに、手入りの行き届いた、庭園に圧倒されました。伝衛門の実業家としての繁栄と栄華の伺われる素晴らしい邸宅でした。

千鳥屋本店

千鳥饅頭・チロリアンの千鳥屋本店では、老舗の門構えと、昔懐かしいお土産を手し、老舗の雰囲気味わいました。

霊峰英彦山神宮参拝

バスは英彦山中腹の、花駅に到着しました。

ここは往時より修験道場として有名です。ここからは、スロープカーに乗り換えて、英彦山の紅葉を眼下に、英彦山神宮奉幣殿に到着。落ち着いた雰囲気、紅葉と霧に包まれた神宮は、神秘的な雰囲気に心洗われる思いになりました。

例年春に実施されているこの親睦旅行も、今回は、紅葉めぐりをメインに考え、実施されましたが、十分堪能することができました。

今回の旅行では思いがけない事もありましたが、お土産と思い出を持って無事に帰ってきました。



カメラルポ

10/17 (土)

普及啓発奉仕活動



市内幹線道路でのゴミ収集活動をしました

カメラルポ

11/4 (水)

グラウンドゴルフ大会



宮田理事長の挨拶の後ゲームが開始されました

カメラルポ

11/7 (土)

いきいきシルバーまつり



職群班により実施されたバザーは、完売となりました



井川市長も参加され最後の餅まきは、大盛況

カメラルポ

11/14 (土)

日帰り親睦旅行



炭鉱王・伊藤伝衛門の豪邸に圧倒されました



九州銘菓『千鳥饅頭』の千鳥屋本店にて

表紙に寄せて

下松市シルバー人材センターの、職群班『襖・障子・網戸張替班』は、現在6名の会員さんで作業されています。

最近では、生活環境が変わって来たのか、年末に襖・障子の張り替えをする方は、少なくなったと言います。襖・障子・網戸の張り替え等、その仕事ぶりは、丁寧で親切と言います。発注者様からの評判は上々だそうです。

お正月までの、受注に今日も一日汗を流していました

編集後記

明けましておめでとうございます

昨年は、読み易く、親しみ易い広報誌をめざし一年間頑張ってきましたが、会員の皆様方からは、様々なご意見を頂き、その都度参考にさせて頂きました。

本年も、昨年に引き続き、『星のさと』の充実と同時に、『下松市シルバー人材センターのホームページ』の充実を図っていききたいと思います。

是非一度、ホームページを開いて頂きご意見をお聞かせください。

広報委員一同

